

Tokyo Society 2017. 'GC.'

「何を学べば良いか?」「何から始めれば良いか?」

若手歯科医師が抱える疑問や不安を解消し、『明日から使える』確かな知識・技術を
現在(いま)活躍している次世代を担うドクターから習得できます。

講師陣



Dr. 雨森洋貴



Dr. 岩田卓也



Dr. 遠藤広規



Dr. 生川寛之



Dr. 北沢伊



Dr. 小林友貴



Dr. 武安嘉大

補綴～Cr&Br：日常臨床における基本術式を学ぶ～

補綴治療の目的は機能回復とその永続性です。学問の歴史は古く、幾多の術式が存在し、日常の臨床で活用されています。本セミナーでは、補綴歯の耐久性を担う支台歯形成や、印象採得の基本術式を講義と実習を通じ習得できます。

●2017年10月5日(木) 19:00～21:00

講義 補綴概論・支台歯形成の基本

実習 前歯部支台歯形成、プロビジョナルレストレーションの作製

●2017年10月26日(木) 19:00～21:00

講義 審美補綴・印象採得

実習 臼歯部支台歯形成、辺縁部の印象採得(上顎・下顎)

保存(修復療法)～1本の歯への的確なアプローチ～

『齲歯を除去し歯の保存に努める』ことは歯科医師にとって基本であり、また日々の臨床で欠かすことのない治療のスタートです。本セミナーでは、コンポジットレジンによる直接修復、インレー・アンレー等の印象、技工操作が必要となる間接修復、またその境界線についてなど基本を習得できます。

●2017年12月7日(木) 19:00～21:00

講義 防湿・カリエス除去・レジン修復の実際

実習 ラバーダムの防湿、レジン修復

●2017年12月21日(木) 19:00～21:00

講義 インレー・アンレー・クラウン 1歯単位の修復の選択方法

実習 修復設計のデザイン

歯牙移動～補綴環境の改善～

臨床ではフェルールを獲得できない症例や、抜歯後に歯槽堤の大幅な欠損が予測される症例も対応しなくてはなりません。そのような症例に補綴環境の改善を目的とした歯牙移動を行うことで、予知性の高い処置を施すことが可能となります。

本セミナーでは、矯正治療の入り口である日常臨床で頻度が高いExtrusionの術式を習得できます。

●2017年11月2日(木) 19:00～21:00

講義 Extrusionの術式とその臨床的意義

Second stepとしてのMTMの紹介

実習 エラスティックを用いたExtrusion装置の作成

義歯～局部床義歯を中心に義歯の理解を深め特性を理解する～

義歯は患者の欠損形態や口腔内の状況によって種類・形態共に大きく変化する為、混乱が多いのではないでしょうか。本セミナーでは、特に日常臨床で触れ合う頻度が高い局部床義歯を中心に、義歯の基本事項・設計・設計後・調整等について学びます。

●2018年2月1日(木) 19:00～21:00

講義 義歯の基本原則・種類・設計・選択(オーバーデンチャーかCRPD)

✓知っておくべき基本事項

✓遊離端義歯の印象採得

✓義歯調整の勘所

実習 辺縁部の印象採得(上顎、下顎)

患者コミュニケーション

～患者の現状理解と説明手法～

患者とのコミュニケーション方法は様々です。その中でも、『患者の訴えを十分に理解すること』、『訴えに対して分かりやすく情報を提供すること』、『分かりやすく治療計画を説明できること』は必須であり重要です。

本セミナーではその為に必要なテクニックを習得できます。

●2018年2月22日(木) 19:00～21:00

講義 情報収集の重要性

✓問診票に隠されている多彩な情報を収集する

会場 株式会社ジーシー東京支店(文京区本郷3-2-14)

定員 歯科医師20名<対象：臨床経験5年前後>

受講料 友の会会員の方 64,800円(税込)
友の会歯科医師会員のスタッフの方 68,040円(税込)
友の会会員以外の方 75,600円(税込)

お問合わせ：TEL:03-3813-5751(担当：小合)

＜お申込み方法＞下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。FAX:03-3815-1513

ふりがな
ご参加者名

(友の会 会員番号

住所

TEL

緊急連絡先(※)